

6 地域・保護者との連携

具体的な内容		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員(学校評議員)のコメント
地域との連携・協力体制を構築し、保護者・地域の期待に応える学校運営を行っている	前期	良好	良好	地域との良好な関係があるので、創立140周年記念事業も成功したと考える。平元小ブログは、学校での子どもたちの様子を知る上でとても有効だと思う。保護者だけでなく、幅広い方々が見ているようなので継続して欲しい。 学校支援ボランティアの活動は、すっかり学校に馴染みなくてはならないものになったと感じる。今年度、1年生の保護者が新規のボランティア員に登録したということだが、益々その輪が広がることを期待している。
	年度	良好		
評価指標			主な取り組み	自己評価B
				前期 年度
⑬保護者・地域との双方向の連携			有用な情報の発信(通信・HP・メール等) PTAの活性化 保護者アンケート 学校評議員会	4 4
			学校支援ボランティアとの連携、平元コミュニティとの連携、地域行事への参加 祖父母参観日	4 4

学校の改善策	【前期→後期】	⑬HP並びにブログでの情報発信がとても好評で有効である。通常の学校だよりや学年通信と並行して、タイムリーな情報発信をこれからは是非続けてほしい。 ⑬創立140周年の記念事業などに絡めてPTA活動の活性化が図られている。新しい事業を開拓することもありだが、現在行われている事業の充実を図ることが望ましい。(例: 保体部のノーメディアディへの取組) ⑬学校が門戸を開き、地域と良好な関係でつながっている。祖父母参観日など新しい試みも計画されているし、さらに地域に開かれた学校づくりを推進していきたい。 ⑬学校支援ボランティアとの連携について、読み聞かせや図書ボランティアからさらに間口を広げた連携をしていけるように働きかけていきたい。
	【後期→次年度】	⑬ 前期同様、学年通信、HP、メール等による情報発信については肯定率が高く、保護者や地域の方々に学校の様子が良く伝わっている。今後も様々な手段で情報発信に努め、学校の様子を広く伝えていきたい。 ⑬ 創立140周年記念事業関連の動きなど、PTA役員を中心によく動いていた。来年度以降は既存のPTA事業をT主導からP主導で活動していける体制を取っていきたい。 ⑬ 祖父母参観日は大変好評だった。来年度以降も継続して実施していきたい。学校支援ボランティアとの連携についても子どもたちのための活動を積極的に担ってもらい、職員数の少ないハンデをカバーしてもらっている。

【各種データ】						
保護者アンケート						
			前期		後期	
			平均	肯定率	平均	肯定率
⑩	子どもは、学校での様子や出来事などを、家族によく話している。	3.3	87	3.2	81	
⑮	学校は、学校だより・学年だより・HP等を通して、教育活動や子どもたちの活動の様子を分かりやすく伝えてい	3.7	99	3.7	100	
⑳	学校と保護者が、PTA活動や行事などを通して、よく連携し合っている。	3.5	100	3.4	97	
職員個人評価						
			前期		後期	
			平均	肯定率	平均	肯定率
⑬	有用な情報の発信(通信・HP・メール等) PTAの活性化 保護者アンケート、学校評議員会	3.8	100	3.8	100	
	学校支援ボランティアとの連携、平元コミュニティとの連携、地域行事への参加、祖父母参観日	3.8	100	3.8	100	

自己評価A及び外部評価の評価区分	
○	きわめて良好
○	良好
○	おおむね良好
○	やや不十分
○	努力を要する

自己評価Bの評価基準	
5	実現状況は極めてよく意識も高い／達成率91%以上、前年度比108%以上
4	実現状況は良好で意欲もある／達成率80～90%、前年度比103～107%
3	実現状況は概ね良好／達成率60～79%、前年度比98～102%
2	実現状況はやや不十分で取り組みが不安定／達成率50～59%、前年度比93～97%
1	実現状況は不十分で努力を要する／達成率49%以下、前年度比92%以下